

組合の情報を
いち早く配信!



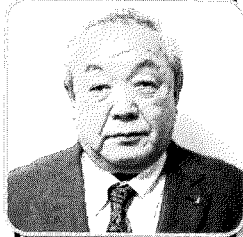
検索(グーグル、ヤフー)
酒田建総ブログでHITします。

酒田建総

発行
酒田飽海建設総合組合
教宣部長 本間 裕
酒田市ゆたか三丁目7-12
TEL (0234) 35-2880
FAX (0234) 35-2881
<http://www.akumi-kenso.com/>

年頭のご挨拶

理事長 関川 俊夫



新年あけましておめでとう
ございます。
また、組合員の皆様には日頃
より組合活動にご理解とご支
援頂き厚く御礼申し上げます。
さて、昨年は一昨年より続く
ロシアのウクライナ軍事侵攻、
そして中東パレスチナはハマ
スのイスラエル攻撃に端を発
したガザ地区侵攻による中東
の緊張激化は、国際社会の分断
を想像させ非常に不安を感じ
ます。
また、私達建設業に携わる者

としては、住宅やビル、美しい街
並みが無残にも破壊される光
景には目を覆ってしまいます。
一方、国内においては、コロ
ナ感染症が2類から5類へ引
き下げられましたが、未だに
猛威を振るっていますし、気
候変動による酷暑や豪雨、大
型台風の発生等多くの天災に
よる農作物や住宅、インフラ
に大きな被害を受けました。
ガソリンや建設資材の高騰も
建設業界に多大な影響をもた
らした激変の年であったとい

えます。
未だ先行きの不透明な情勢
が続くと思われませんが、担い手
の確保・育成や賃金単価の引き
上げ、また、四月に迫った建設
業における働き方改革関連法
の全面適用への対応など、様々
な課題に皆さんと力を合わせ
取り組んでいきたいと考えて
おります。
2024年が、組合員の皆様
と建設業界にとって明るい年と
なる事を祈念申し上げ、新年
のご挨拶といたします。

遊佐町へ要望書を提出

令和五年十一月一日(水)遊
佐町役場におきまして、酒田飽
海建設総合組合遊佐連合支部・
遊佐町商工会と合同で遊佐町
長並びに遊佐町議会議長へ要
望書を提出致しました。
時田博機遊佐町長との会合
の中では、住宅関連支援事業の
拡充にご配慮頂きますよう申
上げたいとの話を進めた際、
遊佐町内の新規住宅地の現状
や日東道開通に向けての今後
の遊佐町の住宅事情の展望等、
興味深い話を頂戴いたしました。
後継者育成を目指した庄内
職業高等専門学校への支援や庄
内市町村会による市町村
法令外負担金支援拡充へ
のご協力の要望について
も深い御見識を持たれて
おり事業にご協力頂いた
ことを再認識した会合と
なりました。

今後も酒田飽海建設総合
組合遊佐連合支部では組合
員の皆様の声を遊佐町政に
少しでも反映させるべく、こ
のような要望書を提出して
参ります。皆様からご指導
頂き今後の組合活動にプ
ラスとなるよう運営をしてま
いりますので、皆様のご協力を
賜りますようお願いいたします。



組合と商工会で要望書を提出

ゆざ商工フェア

木工教室



クリスマス作り

十月十五日(日)に遊佐町
農業者トレーニングセン
ター周辺に於いて、遊佐町商
工フェアが開催され、住宅
部も木工教室で参加させ
ていただきました。課題は昨年
同様で木製いすでした。
午前10個、午後10個、計20個
を目標に子供たちと作りま
した。午前は子供たちの出足



カシナがけ体験

がよく順調に個数を減らす
ことができました。その分午
後からの分が心配されまし
たが、終了時間前には、20個
全部、子供たちと一緒に作る
ことができました。

〈記 安藤 美智博〉

森とみどりの フェスティバル

十月二十二日(日)に酒田
市八幡体育館周辺を会場に
開催されました。

今年は八平まつり(はっ
ぴーまつり、八幡・平田連携事
業)と同日開催されました。

当日は、前日の雨と低温が
心配されましたが、午前中に
雨が少し残ったものの、気温
は次第に回復し、気温の上昇
と共に来客者数も増えてき
ました。課題は昨年同様に木
製いすで、30個を目標に作業
を行いました。子供たちの姿
も次第に見えるようになり、
用意した30個のいすも順調に
数を減らすことができ、終了
時間の2時にはなくなりました。
また、当日は庄内支庁の
クラフト村も開催するとい
うこと講師要請があり、佐藤



上手に打てるかな?

〈記 安藤 美智博〉

令和5年度 住宅デー開催

5月～11月まで酒田建設支部連合会、川南、荒瀬、酒田東、平田、八幡、松山、
遊佐一、二、三支で住宅デーが開催されました。
会場は各地区のコミセン等計21ヵ所、参加者676名、研いだ包丁858本。
また、111名の組合員の方より参加いただきました。



遊佐第一支部



酒田建設支部連合会

訓練校技能者 技能競技大会

《大工職種》
優勝
阿部 泰君
3位
那須雄介君

十月七日(土)河北高等技
能専門校で十一回目となる
若年技能者技能競技大会が
開催された。

参加者は建築大工職種十
七名、建築板金職種十名、左



競技中の一コマ

官職種八名、建築塗装職種七
名の計四十二名。内、当校か
らは大工四名、板金一名、左
官二名の参加となった。

技能検定の二級と同様の
課題という難易度の中で、優
勝を目指し皆、真剣に取り組
んでいた。

当校の結果は大工職種で
阿部泰君(マルイチ本間工務
店)が優勝、那須雄介君(那須
建築)が三位と大工職種とし
ては実に六年ぶりの快挙と
なった。

板金、左官もあと一步のと
ころと感じたので来年度に
期待している。



写真 左/阿部君 右/那須君



完成までもう少し

訓練校課外研修

えさし藤原の郷/中尊寺/東日本大震災津波伝承館
気仙大工・左官伝承館/普門寺三重塔

十一月十七日(金)十八
日(土)に訓練校課外研修が
行われました。

今年度は岩手方面への視察
研修となり、一日目はえさし
藤原の郷、中尊寺を見学しま
した。どちらの見学場所もあ
いにくの雨模様でしたが、ガ
イドの方の説明を皆熱心に
聞いておりました。初日最後
は宮大工によって建てられ
た温泉宿で材料や意匠、細工
の説明を聞き、同宿へ宿泊と
なりました。

翌日は前日の雨が嘘のよ
うな快晴となり、絶好の見学
日和となりました。二日目最



宮大工の技術を聞く



普門寺三重塔

構として残されていました。
二カ所目は気仙大工・左官
伝承館を見学しました。二日
目の見学先では一番関心が
高い施設であったこと、ま
た、ガイドの方の説明もわか
りやすく丁寧なこともあり、
真剣な表情で聞き入ってい
ました。

最後に普門寺三重塔の外
観を見学し、無事帰路につき
ました。

令和6年度 訓練校 木造建築科、左官・タイル施工科 訓練生募集中!!

令和6年度に向けて木造建築科と左官・タイル施工科の訓練生を募集しております。入校希望、情報提供は訓練校担当佐藤(33-3020)までご連絡ください。ご協力よろしくお願いいたします。

訓練科	訓練期間(受講日)	入校資格	授業料
木造建築科	2年間 毎週土曜日 (平日授業あり)	1.中学校卒業以上で雇用 保険の被保険者又は労 災保険の特別加入者 2.事業所に指導員有資格者	■木造建築科・建築板金科 授業料/12,000円/月 入校負担金/21,000円 ■左官・タイル施工科 授業料/13,000円/月 入校負担金/20,000円
左官・タイル施工科	8:30~16:30		
建築板金科			

平田小学校 木工教室



部員による指導

十一月十日(金)平田小学校で木工
教室を行いました。

今年度は生徒二十九名、先生一名
の計三十名が、組合からは技術部
三名、住宅部四名、計七名が講師
として参加しました。

自己紹介の後六班に分かれ、最
初に大まかな作り方を説明し、そ
の後工程ずつ生徒と二緒に進めて
いきました。作り始めは皆さん恐

青年部活動

今年度からコロナウイ
ルスによる活動制限のない青
年部活動に戻りましたが、
コロナによる青年部活動離
れや子育て世代の行事や
仕事の多忙など様々な要
因から、青年部にとっては
厳しい年でした。

そのような中で今年度は九
月三十日(土)に研修旅行を
行い、翌十月一日(日)には県
連青協球技大会に参加し
ました。研修旅行先は福島
県の鶴ヶ城とさざえ堂(正
式名称は「円通三匠堂」)の

る恐る作業をしておりまし
たが、時間が経つにつれ段々
と手際が良くなっていまし
た。

約二時間の作業でした
が、皆さん休憩もせず集中
して取り組んでいたのが印
象的でした。



青年部球技大会

見学を行いました。鶴ヶ城、さ
ざえ堂共に歴史のある建築物
で、特にさざえ堂は世界的に見
ても珍しい建築様式により平
成八年には国重要文化財に指
定されており、とても有意義な
見学となりました。

翌日は高島町で開催された
県連青協球技大会へ参加しま
した。競技はソフトバレーで例年
より参加チームが少なかった
為、総当たりリーグ戦で当酒田
飽海は残念ながら2勝3敗で
5位という結果に終わりました。
結果は残念でしたが、数年
ぶりの青協球技大会への参加、
また参加者がケガをすること
なく終えることができました。

主婦の会活動

いつも主婦の会活動にご理解
とご協力ありがとうございます。



手作り教室

今年も5月に寄せ植え、
6月には、会員の皆様に
折って頂いた鶴を慰霊祭に
献納するため、鶴つなぎの
作業をさせて頂きました。
10月の手作り教室ではハロ
ウィンにちなんだ作品を作
りました。12月にはお正月
用フラワーアレンジメントを
作成しました。

今までは報告会を兼ね
た食事を実施していま
したが、コロナ禍で皆様と
顔を合わせ、お話しする機
会が少なくなりましたが、
来年度から復活の方向へ
と考えております。2月
には総会、これが一年の活動
の最後になります。ぜひ、
参加をお願い致します。

おしゃべりしながら楽
しいひとときを一緒に過
ごしてみませんか?

《記 池田 利恵》